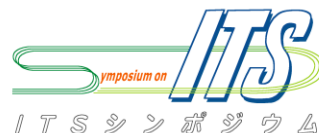


第 23 回 ITS シンポジウム 2025

2025 年 12 月 17 日(水)～18 日(木)

※例年と異なり水曜・木曜の開催となります



広島国際会議場 <https://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>

Call for Papers

大会テーマ： Intelligent Mobility Systems に向けて — デザイン・自動化・公共性

自由な移動を保証し、包摂的な社会づくりが問われる時代となり、車両、道路、公共交通による交通の安全性と効率性、環境負荷低減を担ってきた ITS は、交通に限らず、人・モノ・サービスのシームレスな移動と連携を目指す Intelligent Mobility Systems へと進化しようとしています。MaaS (Mobility as a Service) プラットフォーム、自動運転・ドローン配送・電動マイクロモビリティ、AI による移動データ解析と最適ルーティング、ロボティクスとモビリティの融合などの技術は一部社会に実装され、「Mobility for All (持続可能で包括的な社会)」の実現への期待が高まってきました。

このような社会背景を受けて、今年の ITS シンポジウム 2025 広島では、「Intelligent Mobility Systems に向けて — デザイン・自動化・公共性」を大会テーマに決めました。また、今回は大会テーマに沿った ITS ジャーナル特集号“Intelligent Mobility Systems”を編集・出版します。関連する論文を広く公募しますので、積極的に応募ください。

本年は、例年の「査読あり」「査読なし」に「特集号」を加えた 3 部門で論文を募集します。査読ありを希望され、採択された論文はジャーナル (IJIT: International Journal of Intelligent Transportation Systems Research) 特集号 “Intelligent Mobility Systems” に掲載します。同一論文を重複投稿することはできません。いずれかを選んでご投稿ください。

●査読あり (特集号論文・通常論文)

(1) 提出期限: 6 月 14 日(土) に延長しました

(2) 提出物: A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。

指定のフォーマットに従って作成してください。

フォーマットは https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/23th2025/cfp/ に掲載します。

(3) 掲載: 採択された論文はジャーナル特集号に掲載します。シンポジウム開催までに採用に至らなかった場合も引き続き査読を受けることができ、採択された時点でジャーナル通常号に掲載します。採否結果は 10 月末より順次ご連絡する予定です。

(4) 発表: 論文の採否に関わらずシンポジウムでの発表を必須とします。ジャーナルとの二重掲載を避けるため、シンポジウムでは投稿論文のプレプリントを ITS Japan ウェブサイトに掲載させていただきます。

(5) 投稿先: <http://www.editorialmanager.com/ijit/>

・ 特集号論文: Article Type は **Special Issue Hiroshima 2025** を選択

・ 通常論文: Article Type は **ITS Symposium** を選択

●査読なし

(1) 提出期限: 8 月 20 日 (水)

(2) 提出方法: 250 字程度のアブストラクト。使用言語は日本語または英語。

(3) 提出先: https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/23th2025/cfp/ でご登録ください。

(4) 結果通知: 9 月下旬

(5) 最終原稿: 11 月 5 日(水)までに A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出ください。ITS Japan ウェブサイトに掲載させていただきます。

人を対象とする研究においては研究対象者の尊厳および人権を尊重するとともに、被験者の生命・健康・安全の確保に配慮しなければなりません。研究対象者に係るデータや情報は適切に扱い、プライバシーを保護するとともに、被験者からインフォームド・コンセントを得なければなりません。また、研究を計画、実施するにあたっては所属機関等の倫理委員会の承認を得ることが必要です。

■スケジュール（予定）

査読あり（特集号論文・通常論文）		査読なし	
投稿締切	6月14日	投稿締切	8月20日
1次判定結果通知	7月末	採否通知	9月下旬
修正論文提出	8月末	最終論文提出	11月5日
発表資料提出	11月中旬	発表資料提出	11月中旬
プレプリント公開	12月1日	論文公開	12月1日

■参加登録料

タイプ		11月30日まで		12月1日より	
		会員	非会員	会員	非会員
聴講	一般	15,000円	20,000円	18,000円	23,000円
	学生	3,000円			
論文発表	一般	15,000円			
	学生	8,000円			

※ジャーナル採否は10月末より順次通知します。掲載料は廃止しました。査読あり・なしの別なく、上記の登録料で論文をご発表いただきます。

■募集する通常論文の分野

A. Challenges and Opportunities of Big Open Data

Open data management and application
Data sharing and exchange
Ubiquitous sensing
Technology for data collection
Availability and quality of data
Data visualisation
Data fusion
Predictive analytics
New business models for traveler information
Security in an open environment

B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system
Next generation traffic management
Transport modelling
Road user charging
Travel demand management
Integrated ticketing and payment
Incident management

C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems
Human factors and human machine interface
Field operational tests, pilots and demonstrations
Positioning, mapping and navigation
Security and integrity for connected and automated vehicles
Mobility as a service - a transport revolution?
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

D. Mobile Applications

Multi modal real time information
Multi modal journey planner
Demand responsive public transport
Taxi and parking reservation
Real time traffic advisory

E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction
Technology and system for safety and enforcement
Advanced driver assistance and support systems
Human factors
Emergency pre-emption and notification
Post-crash response
Improving safety of vulnerable road users
e-call
Roadwork safety and inclement weather management
Preventative and active safety systems

F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management
Logistics
Railway network operation
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction
Electro mobility and charging
Eco driving
Reducing noise
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing
Encouraging active transport and mode shift

■第23回ITSシンポジウム2025

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催(予定)： 広島大学

協賛(予定)： 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会モビリティ社会部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長 藤原章正 広島大学 IDEC 国際連携機構 教授

プログラム委員長： 神田佑亮 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授

プログラム委員会： 大江真弘(国土交通省中国地方整備局), 大田健太郎(株式会社福山コンサルタント), 大畑友紀(福山大学), 荻島亮一(パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社), 小野晋太郎(福岡大学), 木下拓矢(広島大学), 河野健(パシフィックコンサルタンツ株式会社), 杉町敏之(東京都市大学), 鈴木春菜(山口大学), 竹隈史明(復建調査設計株式会社), 力石真(広島大学), 土崎伸(株式会社オリエンタルコンサルタンツ), 柄岡孝宏(マツダ株式会社), 橋本成仁(岡山大学), 早内玄(名古屋大学), 平井健二(復建調査設計株式会社), 船田尚吾(株式会社社長大), 松本慎平(広島工業大学), 森山昌幸(株式会社バイタルリード), 楊波(九州工業大学)

問合せ先： ITS シンポジウム事務局 h-ide@its-jp.org